

藤井とものり

昭和50年生まれ。慶應義塾大学商学部卒・銀行勤務（融資担当）
公認会計士・税理士（準大手監査法人で会計監査・内部統制監査に従事）
練馬区議4期。東京都議会立憲民主党 政調副会長。



新型コロナウイルス感染症を徹底的に抑えこむ！ —だれひとり取り残さない東京へ—

この度、首都圏でも緊急事態宣言が解除されました。宣言による効果が日々薄れゆく中、「これ以上続けても効果はない」との消極的判断であったとも言われています。今後重要なことはいかにリバウンド（感染再拡大）を起こさせないかです。レポートの表面においては、ワクチン接種（練馬区モデル）、PCR検査の戦略的活用など感染を徹底的に抑え込む為の諸施策を紹介しております。また裏面においては、都営大江戸線の延伸、都議会改革、都財政の逼迫など最近の都議会における論戦からピックアップし、報告しております。何卒ご一読頂き、ご意見・アドバイス等お寄せ下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

コロナワクチン接種スタート！ —練馬区モデルで「安全・安心」を提供—

コロナ感染拡大を防ぐ「切り札」とされるコロナワクチンですが、練馬区でも4月19日から高齢者を対象とするワクチン接種が始まります。区には65歳以上の高齢者が16万人おり、そのうち接種率を65%（インフルエンザ接種率約60%を参考）と想定し、6週間で、1人につき2回、合計21万回の接種が可能となる体制が構築されます。クリニックでの個別接種（約250箇所）を軸に、集団接種（病院・区立施設・本庁舎・体育館）で補う方式は「早くて近くて安心」と謳われ、「練馬区モデル」として各種メディアでも報じられたところ。特に「安心」はとて重要なキーワードだと思います。議員活動を展開する中で、区民の皆さんから「一日も早くワクチンを接種したい」といった期待の声をいただく一方で、「副反応が怖い」といったご心配の声も同時にいただきます。大手新聞社の調査によれば、接種を希望する人が約7割存在する一方で、副反応について不安との回答も約8割にも及びます。この調査結果から、絶対安全と言い切れなくても、接種した方がいいと考えている人が多い実態が浮かび上がってきます。今後接種率を向上させる為には、副反応の1つである「アナフィラキシー」といわれる急性のアレルギー反応に備えることは特に重要です。区が医師をはじめ医療現場と十分に連携することで、万全な対策を推進し、「安心」を提供できる体制の構築がポイントになります。今後も、区民の「安全・安心」を提供するべく、私も都議会の立場から練馬区におけるワクチン接種を支援して参ります。

「新型コロナワクチン」よくある質問

Q ワクチンの効果は？

A 主に発症を防ぐ効果が認められています。2回接種することにより、95%の有効性で熱や咳などの発症を防ぐ効果が認められています。多くの方が接種することで、個人の発症・重症化予防や、社会全体での感染症の流行を防ぐことが期待されています。

Q 必ずワクチン接種を受ける必要があるのか？

A 強制ではありません。受ける方の同意がある場合のみ接種を行います。

Q ワクチン接種の順番は

A 高齢者から接種が始まります。

Q 接種費用はかかるの

A 無料です。



Q 副反応は起きる？

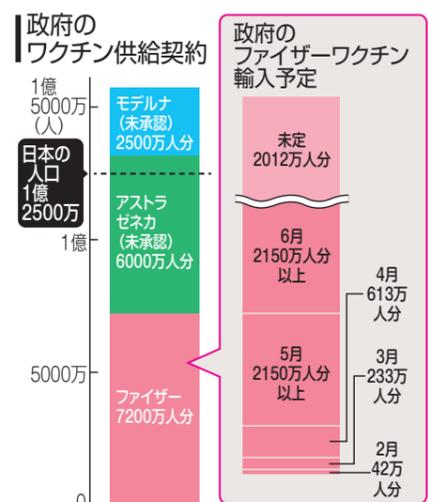
A 一般的にワクチン接種後には、接種部位の痛み、発熱、頭痛などが起こる可能性があります。治療を要したり、障害が残るほどの副反応は極めてまれです。

Q 予約方法は？

A 接種券が到着し、クリニックでの個別接種を希望する場合は、かかりつけの診療所に予約。集団接種を希望する場合は、区に予約。

—課題はワクチンの確保—

ワクチン供給が、当初国から示されていたスケジュールよりも大幅に遅れていることに区は危機感を募らせています。練馬区においても、わずか2箱（975人分、高齢者数の0.6%）のワクチンしか確保されておりません。当初の想定以上にワクチンが確保できないということになれば、すべての方にワクチン接種を受けていただき、社会として集団免疫の獲得を目指すという戦略は変更を余儀なくされます。より重症化リスクの高い方々（基礎疾患をお持ちの方、より高齢の方など）から、優先的に接種



いただくようお願いしてゆくしかありません。あまりに国から情報が伝わって来ない為、医師をはじめ医療関係者、自治体の担当者、また多くの区民の皆さんから、ご心配や戸惑いの声を多数頂きます。適時適切な情報提供がなされるよう、都議会を通じて働きかけて参ります。

PCR検査の戦略的活用 —感染の連鎖を断つ+変異株の監視強化—

都は、PCR検査等体制を1日最大6万8,000件に拡大しました。一方、最近の行政検査（全額公費）は2,000～8,000件程度であり、まだ活用の余地があります。全ての年代で感染経路が不明な方の割合が高くなっており、わかっている経路も職場や家族で約半分を占めています。会食、夜の街は少なく、感染の場は身近な生活環境へと変化しています。区の保健所長の判断で対象を広くできますが、都内全域で、見えにくいクラスターをあぶり出し、感染の連鎖を絶つために、徹底して攻めのPCR検査を実施するよう、強く求めました。都は「拡大の予兆や感染源を早期に探知するため、感染リスクの高い場所を中心に、無症状者に焦点を当てた幅広いPCR検査等を実施」する旨、答弁しました。また、専門家からは、変異株による第4波を警戒する声もあがっているため、都としても変異株への対応を強化することを求めました。都は「監視体制強化のため、スクリーニング検査を実施していない民間検査機関に対し、実施を働きかける」と答え、監視体制の強化に取組む考えを示しました。



本会議でコロナ対策について質問

大江戸線の大泉学園町方面への延伸について知事の見解を問う!
—決算特別委員会ダイジェスト—



Q 藤井とものり 私の地元、練馬では、土支田・大泉町・大泉学園町と鉄道空白地域が大きく広がる。現在のバスによる交通対策も一定の限界がある。都営大江戸線の延伸の必要性について、知事の見解を伺う。



A 小池知事 都営大江戸線の大泉

学園町方面への延伸については、収支採算性など引き続きの検討を進める。

解説

区は「一日も早い延伸」を求めています。一方、**都は収支採算性など「事業化の検討」を進めつつも、現在のところ「YES」とも「NO」とも明言しておりません。**区は、かつて延伸にかかる事業費を「600~700億円」と試算しましたが、運賃収入(増加分)による回収可能性が最大のポイントになります。都は、2019年、**延伸により1日3万人の乗客増が見込まれるとの需要予測**を公表しました。私も「朗報」と捉えていますが、**一方では混雑対策が課題**となります。大江戸線は、2018年、55編成から58編成へと輸送力が強化されましたが、更なる増強の為に、車両基地(練馬区高松)の拡充も課題となります。最近、大江戸線が「また混雑してきた」との声も増えて参りました。延伸によって混雑に拍車がかかり、光が丘駅以南の現ユーザーの皆様にご負担を強いるようなことも避けなければなりません。区、都、それぞれの「立場の違い」を乗り越えた先に、練馬の悲願とも言える大江戸線の延伸が実現するものと考えます。私も多くの区民、利用者の皆様のご理解を頂きながら、延伸に向けた努力を続けて参ります。

延伸計画の概要

- 大江戸線の延伸は、現在光が丘駅まで整備されている地下鉄大江戸線を土支田・大泉町・大泉学園町地域を通り、JR武蔵野線東所沢駅方面まで延伸する計画です。
- このうち、大泉学園町までの区間は約4kmで、導入空間として都市計画道路補助230号線を整備し、(仮称)土支田駅、(仮称)大泉町駅、(仮称)大泉学園町の3つの新駅を整備する予定です。



©練馬区 練馬区公式アニメキャラクター ねり丸



徹底した支出の精査で健全財政を取り戻す
—コロナショック後の増税を回避するために—

新年度予算では、都税収入の約4000億円の減収が見込まれています。近年、都税収入が5兆円台で推移していることから、**約1割もの減収幅**となります。都財政は法人2税(法人事業税・法人住民税)が大きなウエートを占める為、景気変動の影響を受けやすく、経済が好調な時は、税収は潤沢なものとなる一方で、経済の失速時には、たちまち税収は大きく落ち込みます。

都の貯金にあたる財政調整基金は、令和元年度末時点で9345億円ありましたが、休業や時短要請に対する協力金の為、何度も取り崩した結果、令和二年度末時点で2511億円まで大きく減少しました。このままでは**基金は底をつくことにもなりかねません。**

コロナ対策は都政の最重要課題ですが、**費用対効果を度外視した対策は、税金の使い道として公正さを欠くばかりか、財政を大きく痛める結果ともなりかねません。**

今後ともコロナ収束を目指すとともに、都に対して徹底した支出の精査を求めるなど、将来的な負担増(増税・公債残高の増)を招かないよう、厳しく監視して参ります。

一般会計当初予算	
H29	6兆9540億円
H30	7兆 460億円
R1 (H31)	7兆4610億円
R2	7兆3540億円
R3	7兆4250億円

新型コロナ対策に
2.5兆円以上
(3力年合計)

東京都議会議員(練馬区選出・立憲民主党)

藤井とものり

都政へのご意見ご要望をお寄せください!!

事務所連絡先 〒176-0013 練馬区豊玉中4-12-1-102

TEL 03-6821-1329 FAX 03-6683-7481 E-MAIL fujitomo@deluxe.ocn.ne.jp

練馬の声を
都政に
届けます!

